

# 大切な農地・表土を守るため

# 農地の保全に取り組みましょう

## ○ 『網走川・藻琴川流域の課題』と『農地保全』

網走川・藻琴川流域は、豊かな自然環境を背景に道内でも有数の農林水産業が盛んな地域です。

一方、近年は台風や短時間強雨の発生頻度の増加などにより、土砂流出による農地の侵食や湖沼の浅化など、農業や漁業への影響が発生していることから、営農においても農地を適切に保全し、土壌の流出を防止することが重要となっています。

本マニュアルでは、「農地の保全を重視した維持管理方法」をまとめておりますので、皆様の営農の参考になれば幸いです。

## ○ 網走地域の気象変動

近年は地球規模の気象変動が発生しており、網走地域でも下図のようにゲリラ豪雨等の短時間豪雨が増加傾向にあります。

記憶に新しい平成28年8月の台風では、網走市の年間降水量の約半分に当たる400mmもの大雨がたった1ヶ月で降り、農地の侵食や崩落が多数発生し、地域農業に大きな影響を与えました。

農地や林地の侵食は農林業のみならず、湖沼の浅化等により、漁業や生態系にも大きな影響を与えます。

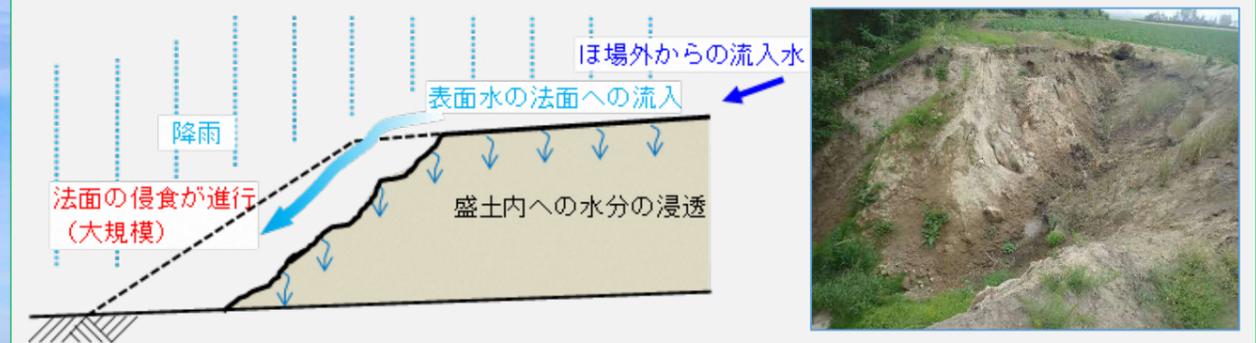
地域の豊かな自然環境を守るため、農地保全の取組にご理解とご協力をお願いします。



## ○ なぜ、農地の侵食、崩落が発生するのでしょうか？

近年の大雨等で侵食、崩落が発生した農地を調べたところ、降った雨が農地の表面を流れることで表土や法面が侵食され、やがて大規模な崩落に繋がっているケースが多いことがわかりました。

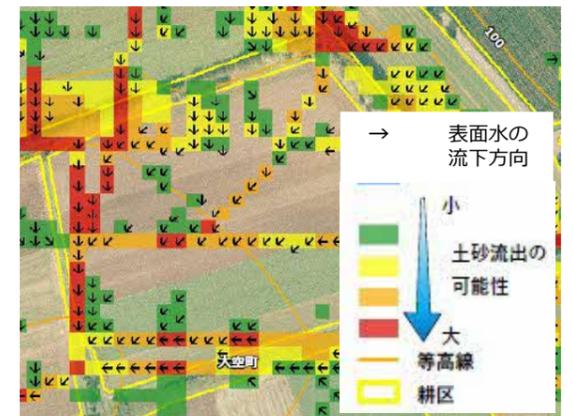
本流域は、傾斜地かつ侵食されやすい火山灰地帯であるため、農地の侵食防止には、表面水・地下水対策がとても重要です。



## ○ 水の集まりやすいところは？

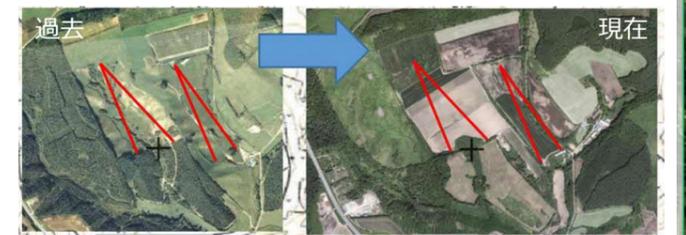
### ① 土砂流出箇所予測マップ

農地のどこに水が集まりやすいか「見える化」したマップを作成しました。詳細は管轄の市町村、JAにお問い合わせください。



### ② 地理院地図（電子国土Web）

過去と現在の航空写真から水の集まりやすい沢地等の昔の地形を確認できます。



「<」箇所が造成されていることがわかります

## 『大切な農地を 災害から守るために』

【農地管理マニュアル～概要版～】

### ○ 農地保全のための管理手法

#### ① ほ場の点検箇所、時期等について

ほ場の法面や排水柵など、崩落の原因となる水が集まりやすい箇所を、春、夏、秋の年3回程度確認し、補修・清掃を行ってください。

（特に融雪時期は思わぬ場所に水が流れます）



【閉塞した排水柵】

#### ② 水の集まる箇所を強固にしましょう

表面水対策には、ほ場下部に承水路や畦畔を設置したり、ほ場外流入を排水路で受けること等が効果的です。少しの侵食が大崩落に繋がりますので、ほ場が侵食された場合は、応急対策として土のうやシートを設置しましょう。



【ほ場下部の畦畔と承水路】

#### ③ 表面水を少なく、緩やかにしましょう

表面水を少なくするには、地下へ浸透させる暗渠排水・心土破砕が、緩やかに流すには横畝栽培・ほ場の水切りが効果的です。



【ほ場端部の水切り】

### ○ もっと詳しく知りたい方へ【農地管理マニュアル～全体版～】

本流域の侵食・崩落農地の調査結果や、農地保全対策事例、農地点検チェックリストなどが掲載されています。

農地を保全するには、日頃の営農対策、災害時の応急対策、事業での恒久対策等を組み合わせて実施することが重要ですので、お困りの際は、下記の相談窓口、問い合わせ先にご相談ください。

【農地管理マニュアル全体版】 オホーツク総合振興局 整備課HPへ

URL : <https://www.okhotsk.pref.hokkaido.lg.jp/ss/sib/100414.html>

#### ●農地保全についての相談窓口

北海道オホーツク総合振興局  
東部耕地出張所

TEL (0152) -45-3144

北海道オホーツク総合振興局  
中部耕地出張所

TEL (0157) -23-5839

#### ●パンフレットについて

北海道オホーツク総合振興局  
産業振興部整備課

TEL (0152) -41-0677

網走川・藻琴川流域  
農地保全対策連絡会議

